

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	保津町	「大家族宣言のまち保津町」のまちづくり 1、保津小学校の特認校指定について	平成25年8月に策定の亀岡市教育振興計画に「学校規模適正化の検討」を挙げており、平成26年8月から亀岡市学校規模適正化検討会議においてアンケート調査や先行事例の検討等を行い、平成28年1月に取りまとめた提言を基にパブリックコメントを実施し、平成28年3月に亀岡市学校規模適正化基本方針を策定しました。 亀岡市学校規模適正化基本方針では、それぞれの中学校区ごとに規模適正化の方向性や、適正化方法の選択肢を示しており、亀岡中学校区では、保津小学校の複式学級の解消を喫緊の課題としてとらえ、これを優先して取り組むことが方向性として示されています。 今後、亀岡中学校区を単位としたブロック協議会において、亀岡駅北土地区画整理事業に係る工区や保津小学校の特認校制度導入案について協議し、亀岡中学校区の学校規模適正化を進めてまいります。 今年7月19日、第1回目の亀岡中学校区を単位としたブロック協議会を開催しました。 亀岡駅土地区画整理事業の進捗状況の把握に努めつつ、今後、自治会・PTA等から特認校制度等について、いただいた御意見を基に協議・検討を重ね、複式学級の解消など、学校の教育力の向上と魅力ある学校づくりの推進に努めてまいります。	教育部長	③検討	亀岡中学校ブロック協議会での協議結果を踏まえて対応していきます。
2	保津町	「大家族宣言のまちづくり」 2、保津保育所について ◎通園する園児たちの安全確保について	保津保育所については耐震性が低く老朽化も進んでいることから、今後、耐震化工事、施設更新を検討していく必要があります。また、隣接した駐車場がないことや愛宕谷水系のため池の水害の危険性があることから、別用地への移転も視野に入れ、児童数の状況や周辺地域の保育ニーズを踏まえ、今後の施設更新を検討していきたいと考えます。	健康福祉部 子育て支援担当部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
3	保津町	【質問事項等】 エアコンの設置について	保津小学校については実施設計は終了しており、今年度の補正予算で年度内に対応ができればと考えています。保津保育所については、部分的には入っていますが、入っていない箇所もありますので導入にむけて検討をしていきたいと思っています。	市長 (健康福祉部) (教育部)	②実施予定	年度内の導入に向け進めています。 エアコン整備に向けて、国へ補助金要望を行い、内定を得ることができました。早期の事業実施に向け、学校現場と連携を図り、エアコン設置を進めていきたいと考えています。
4	保津町	【質問事項等】 今年度も保津町内に転入者がでてくる予定だが保育所の受け入れ態勢についてはどうか	保津保育所の入所については、こどもの年齢によっては空きのある状況でございますので一人でも多くの保育が必要なこどもの入所ができるよう努めてまいりたいと思っています。	健康福祉部 子育て支援担当部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
5	保津町	【質問事項等】 保津保育所のトイレについて	洋式化に向けてなるべく早い段階で準備を進めていきたいと考えています。	市長 (健康福祉部)	①実施	年度内完了予定で、トイレ改修工事を実施しています。

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
6	保津町	「大家族宣言のまちづくり」 3、保津ヶ丘文化センターについて	<p>保津ヶ丘(保津町8区)は昭和29年に水害常襲地からの集団移転が京都府の事業として実施されました。</p> <p>その後、当時区の公民館とグラウンドがあった当地に、地域の隣保館として「保津ヶ丘解放会館・児童館」を昭和48年度に建設。平成13年度末をもって同和対策特別措置法の失効に伴い、現在の「保津ヶ丘文化センター・児童館」に名称変更し使用料を設定、地域間の交流促進を図っています。</p> <p>保津ヶ丘文化センターは建設当時の過去の経過から区の会議所としての機能を有していると理解しています。</p> <p>「中核館構想の方針」とおり、今後保津ヶ丘文化センター・児童館については、大規模改修は行わず、使用している間は一定修繕を行いながら利用可能な時期まで活用し、老朽化に伴い順次廃止することで、3館体制の中に集約していくこととなります。</p> <p>現在保津ヶ丘文化センター・児童館1階の調理室において、雨漏りをしていることは確認しているところです。平成18年度に行ったような大規模な修繕はできませんが、使用に支障を来している部分については、一定の修繕を実施していきたいと考えています。</p> <p>また、同センターの除却については、できるだけ利用可能な時期まで活用したいと考えています。会議所については、基本的には区の施設ではあるが、文化センター建設時の経過等もありますので、廃止時に有効な補助制度等を検討したいと考えます。</p>	生涯学習部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
7	保津町	「大家族宣言のまちづくり」 4、治水事業の促進について ◎桂川左岸のさくら堤下流側の霞堤の逆流防止	<p>現在、嵐山工区で実施されている桂川緊急特別対策事業の完成に伴い、亀岡市域に9か所ある霞堤が約1m嵩上げできることとなります。</p> <p>その中、こん談事項の桂川左岸のさくら堤下流側の霞堤についても、平成32年度に嵐山工区が完成予定となっており、完成後速やかに嵩上げを行っていくことが治水安全度の向上にため不可欠です。</p> <p>しかし、霞堤の嵩上げにより、内水氾濫など、それぞれの霞堤において様々な影響を及ぼす要素があると予想され、事前調査を行い万全の対策を講じた上で霞堤の嵩上げを行う必要があります。京都府としましても、嵐山工区の左岸溢水対策完了後、速やかにさくら堤下流側の霞堤の嵩上げを行うため、事前の現地調査を実施する予定と聞いています。市としても地元の声を十分に踏まえた対策を図るよう京都府と調整してまいります。</p>	まちづくり推進部 事業担当部長	④要望	こん談会での回答のとおりです。

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
8	保津町	「大家族宣言のまちづくり」 5、道路整備事業の促進について ◎保津川右岸、宇津根橋より商工会館までの道路拡張	市道保津宇津根並河線については一般府道郷ノ口余部線とJR亀岡駅を結ぶ市道であり、亀岡市都市計画マスタープランにおける桂川右岸の堤防利用構想路線の一部となっている。市域の骨格幹線道路として位置付けを行う中、平成24年度の着手以来現在まで順次事業を進めています。 市道保津宇津根並河線の整備手法としては宇津根橋よりJR亀岡駅に向けて順次進めているところで、懸念されている希少生物等の対応についても工事と平行して環境影響調査やモニタリングも行き、必要に応じ専門家の意見も聴取しながら適切に進めているところで、本年についても宇津根橋周辺の用地取得に向けて現在取り組んでいます。今後についても平行して進められる公園整備とも調整しつつ、早期完成に向け取り組んでいきます。しかしながら、近年本事業の財源となる国からの道路事業に対する割り当てが厳しく事業の進行に支障を来しているのが実情で、引き続き国や府へ要望等を行っていきますが、事業進捗には用地協力等、地元関係者のご理解御協力も不可欠でありますので、引き続きお願いしたいと思います。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	宇津根橋との交差点部について宇津根橋改修に合わせ、市道側の整備も必要となるため、整備にかかる用地について今年度取得したところです。
		◎市道保津環状線の早期完成	保津町の集落内の道路が狭小であり、車の通行に支障をきたしているのに加え児童の通学にも危険が伴っていることから、安心して人と車が通行できる新設路線を平成23年度から着手しています。 平成23年度より順次事業に取り組んでいますが、国からの交付金を財源に事業実施していることから、国からの割り当てが少ない中、本事業に充当できる事業費も限定しており、事業の進捗が見えづらい状況となっています。今年度については用地補償と部分的に築造を実施する計画で、地権者の合意が得られた部分から順次事業を進め、事業効果を発現していきたいと考えます。ただ、本事業区間については地権者が多く、用地取得が難航している箇所もあり、事業の進捗については自治会等地域の協力が不可欠であり、今後ともご理解御協力をお願いしたいと思います。		①実施	市道保津外環状線については府道亀岡園部線の交差点部について、今年度工事発注を行いました。また、用地取得の未了箇所についても、引き続き用地協議を進めています。 ※築造工事:11/5契約締結
9	保津町	「大家族宣言のまちづくり」 6、道路整備事業の促進について ◎京都市内へのダブルルート化によるルート選定	6月の大阪北部地震や7月の西日本豪雨により、JR山陰本線、公共バスの運休、国道9号線や京都縦貫自動車道などの主要幹線道路の通行止めが発生し、本市の公共交通網に大きな影響を及ぼしています。 昨今の異常気象などから幾度となく通行規制基準の降雨量に達し、通行止めとなっているところです。また、今後予想される南海トラフ地震や原子力発電所の万一の事故に備えた広域的な避難経路の強靱化を図らなければならないと認識しています。これらの課題は亀岡市域に留まるものではないので、京都丹波2市1町において、昨年8月に国道9号ダブルルート整備促進協議会を発足し、広域的な視点からの防災・安全対策として安定的な道路ネットワークを確保するため、国道9号のダブルルート化を図っていくものです。 現在の想定ルートについては、保津町から提案いただいている京都市内の新丸太町線を西にトンネルで抜き、亀岡市北部に連絡する案や、亀岡市東部と京都市西京区大原野付近連絡する案が想定されていますが、京都府全体の道路ネットワークを考えながら、国、府、京都市や同整備促進協議会が連携する中でルート選定についても検討していくことになると考えています。 今後は、早期にルート決定が行われることにより、関係する国、府などに具体的な要望活動が行えるようになることから、早期ルート決定を目指して関係機関と調整してまいります。	まちづくり推進部長	④要望	こん談会での回答のとおりです。

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
10	保津町	【質問事項等】 もし谷山池の決壊した場合、高台に避難する必要があるが、それを周知する合図のようなものはあるのか	例えば大雨などの際に決壊することが予想されますが、現在は避難情報や避難勧告、避難指示が出した段階で高台に避難するという事が必要であり、またそういった際にエリアメールを送らせていただいておりますのでその活用が大切であると認識しています。また自治会を中心とした住民の皆さん同士の、また地域のつながりを強めていくことが大切であると思います。	市長 (総務部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
11	保津町	【質問事項等】 保育所の送迎バスについて、公立保育所では検討しているのか	公立保育所でバスを配車することは私立保育所とのバランスも踏まえ現状考えてはいないです。	市長 (健康福祉部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
12	保津町	【質問事項等】 パークゴルフ場と多目的広場の水路が砂で埋まってしまう、水がたまってしまっている状態になっている。	現地の確認を行い、改善にむけて調査・検討をまいります。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	水路上に堆積していました土砂については、9月25日までに浚渫撤去を行いました。